



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日 東

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	100,928	8.9	6,401	24.0	7,108	△18.5	4,590	△14.9
27年3月期第3四半期	92,688	△3.5	5,163	△17.7	8,720	6.5	5,397	△0.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,716百万円(△36.8%) 27年3月期第3四半期 5,879百万円(0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	47.21	—
27年3月期第3四半期	55.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	168,040	82,244	48.7
27年3月期	152,224	79,510	52.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 81,793百万円 27年3月期 79,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
28年3月期	—	6.25	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.25	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	7.7	8,500	33.3	10,200	1.5	6,750	5.6	69.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) BELLUNA CORONA LLC、GRANBELL CORONA LLC、除外 1社(社名)

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	113,184,548株	27年3月期	113,184,548株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	15,947,496株	27年3月期	15,946,915株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	97,237,259株	27年3月期3Q	97,238,339株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、設備投資が堅調を維持する一方、中国や新興国の景気減速で輸出が下押しされるなど、先行きは不透明な状況となっております。また、個人消費についても雇用環境が改善しているものの回復力が弱いままで推移しております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続きポートフォリオ経営の強化に取り組んで参りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は100,928百万円（前年同期比8.9%増）となりました。営業利益は総合通販事業での収益改善などにより6,401百万円（同24.0%増）となる一方、為替相場の変動による利益が前年と比べ減少したため、経常利益は7,108百万円（同18.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,590百万円（同14.9%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

[総合通販事業]

衣料品の売上は堅調に推移しましたが、家具・雑貨等が前年を下回り、売上高は54,227百万円（同0.3%増）となりました。また、セグメント利益は物流費率の改善などにより2,731百万円（同23.5%増）となりました。

[専門通販事業]

新規に株式取得した丸長㈱が加わったことなどで、売上高は27,637百万円（同15.0%増）となりました。また、セグメント利益は㈱ベストサンクスの収益改善などで1,014百万円（同59.5%増）となりました。

[店舗販売事業]

アパレル店舗事業に加えて、和装店舗事業も順調に売上を伸ばしたことで、売上高は7,712百万円（同44.8%増）となり、セグメント利益は132百万円（同44.3%増）となりました。

[ソリューション事業]

不採算案件の絞り込みで通販代行サービスの売上が減少したことで、売上高は3,309百万円（同10.0%減）となりましたが、セグメント利益は1,402百万円（同15.0%増）となりました。

[ファイナンス事業]

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は2,120百万円（同9.5%増）となりました。一方で、セグメント利益は積極的な広告宣伝活動などにより744百万円（同4.1%減）となりました。

[プロパティ事業]

不動産販売に加え、ホテル事業が売上に寄与したことで、売上高は3,750百万円（同141.6%増）、セグメント利益は541百万円（同5.0%増）となりました。

[その他の事業]

卸売事業などで売上を伸ばし、売上高は2,615百万円（同6.1%増）、セグメント損失は23百万円（前年同期はセグメント損失139百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比9,688百万円増加し、79,543百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,227百万円、受取手形及び売掛金が2,035百万円、商品及び製品が1,657百万円、仕掛販売用不動産が2,789百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比6,128百万円増加し、88,496百万円となりました。これは主に土地が3,354百万円、投資有価証券が1,619百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末比15,816百万円増加し、168,040百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比5,862百万円増加し、42,378百万円となりました。これは主に未払法人税等が1,171百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が4,897百万円、未払費用が2,128百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比7,219百万円増加し、43,417百万円となりました。これは主に長期借入金が7,245百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は前連結会計年度末比13,082百万円増加し、85,795百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比2,734百万円増加し、82,244百万円となりました。この結果、自己資本比率は48.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の業績予想につきましては、平成27年5月15日の公表から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した㈱ビッグベルトレーディング、MIRIANDHOO MALDIVES RESORTS PVT. LTD.、VAUXHALL STREET TOWERS PVT. LTD. を、また、株式を取得した丸長㈱を連結の範囲に含めております。

第2四半期連結会計期間より、新たに設立したMADISON GRANBELL LLC、ASIA LANDS DEVELOPMENT PVT. LTD.、UNION PLACE APARTMENTS PVT. LTD.、MARINE DRIVE HOTELS PVT. LTD.、MADISON GRANBELL 2 LLC、BELLUNA CORONA LLC、GRANBELL CORONA LLCを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ39百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,242	20,469
受取手形及び売掛金	9,579	11,615
営業貸付金	17,281	17,563
有価証券	721	383
商品及び製品	15,857	17,515
原材料及び貯蔵品	1,185	1,281
販売用不動産	1,782	1,004
仕掛販売用不動産	328	3,118
繰延税金資産	712	576
その他	5,785	6,599
貸倒引当金	△621	△583
流動資産合計	69,855	79,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,714	21,760
機械装置及び運搬具(純額)	990	918
工具、器具及び備品(純額)	364	363
土地	32,192	35,547
リース資産(純額)	408	326
建設仮勘定	134	509
有形固定資産合計	55,804	59,426
無形固定資産		
のれん	3,601	3,344
リース資産	1,284	1,466
その他	2,696	3,293
無形固定資産合計	7,582	8,104
投資その他の資産		
投資有価証券	13,326	14,946
長期貸付金	1,679	1,667
破産更生債権等	250	228
繰延税金資産	807	814
その他	3,203	3,577
貸倒引当金	△286	△267
投資その他の資産合計	18,981	20,965
固定資産合計	82,368	88,496
資産合計	152,224	168,040

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,449	20,346
短期借入金	7,672	8,098
未払費用	6,629	8,757
リース債務	548	626
未払法人税等	2,047	876
賞与引当金	546	302
返品調整引当金	66	84
ポイント引当金	649	526
その他	2,908	2,760
流動負債合計	36,516	42,378
固定負債		
長期借入金	31,995	39,240
利息返還損失引当金	1,097	1,037
リース債務	1,162	1,192
退職給付に係る負債	34	31
役員退職慰労引当金	244	250
資産除去債務	494	501
その他	1,168	1,164
固定負債合計	36,197	43,417
負債合計	72,713	85,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	66,120	69,496
自己株式	△9,676	△9,676
株主資本合計	78,054	81,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,313	799
為替換算調整勘定	△183	△485
退職給付に係る調整累計額	61	49
その他の包括利益累計額合計	1,191	363
非支配株主持分	264	451
純資産合計	79,510	82,244
負債純資産合計	152,224	168,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	92,688	100,928
売上原価	41,162	45,542
売上総利益	51,525	55,386
返品調整引当金繰延差額	8	17
差引売上総利益	51,517	55,368
販売費及び一般管理費	46,353	48,967
営業利益	5,163	6,401
営業外収益		
受取利息	172	236
受取配当金	436	288
為替差益	664	33
デリバティブ評価益	2,102	87
その他	502	637
営業外収益合計	3,879	1,283
営業外費用		
支払利息	87	97
減価償却費	101	131
支払手数料	10	203
その他	123	144
営業外費用合計	322	576
経常利益	8,720	7,108
特別利益		
投資有価証券売却益	168	107
特別利益合計	168	107
特別損失		
固定資産除却損	56	1
投資有価証券評価損	-	72
和解金	506	-
特別損失合計	562	74
税金等調整前四半期純利益	8,327	7,141
法人税、住民税及び事業税	2,519	2,256
法人税等調整額	410	332
法人税等合計	2,929	2,588
四半期純利益	5,397	4,553
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,397	4,590

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	5,397	4,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	570	△513
為替換算調整勘定	△79	△311
退職給付に係る調整額	△8	△11
その他の包括利益合計	481	△836
四半期包括利益	5,879	3,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,879	3,762
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	54,010	24,026	5,328	3,413	1,935	1,551	2,423	—	92,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	2	—	263	—	1	42	△346	—
計	54,047	24,028	5,328	3,677	1,935	1,552	2,465	△346	92,688
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	2,211	636	92	1,219	776	516	△139	△148	5,163

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳167百万円とのれん償却費△315百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	54,096	27,624	7,712	3,048	2,120	3,736	2,589	—	100,928
セグメント間の内部 売上高又は振替高	131	12	—	261	—	13	25	△444	—
計	54,227	27,637	7,712	3,309	2,120	3,750	2,615	△444	100,928
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	2,731	1,014	132	1,402	744	541	△23	△143	6,401

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳192百万円とのれん償却費△335百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。